

● 研究の概要 ●

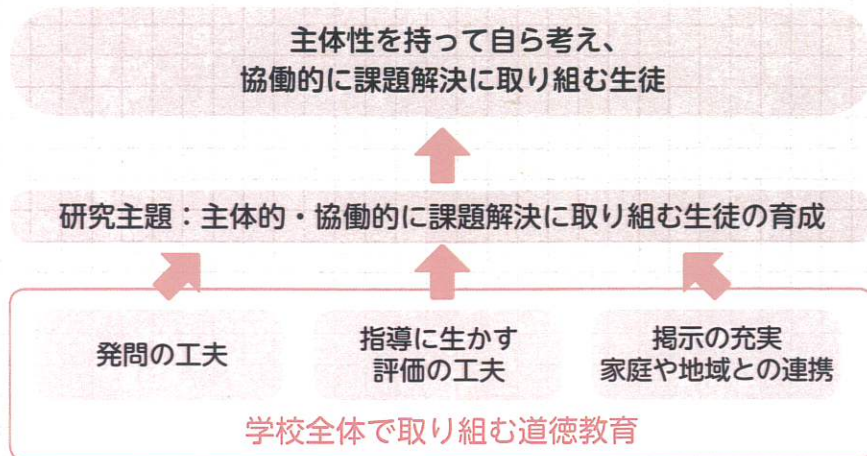
1. 主題設定の理由

- 生徒の実態
素直で、指示されたことにしっかりと取り組める一方、「自ら進んで行動する力」「他者とコミュニケーションを取る力」が不十分



「主体性を持って自ら考え、協働的に課題解決に取り組む生徒」の育成を目指す

2. 研究の構想図

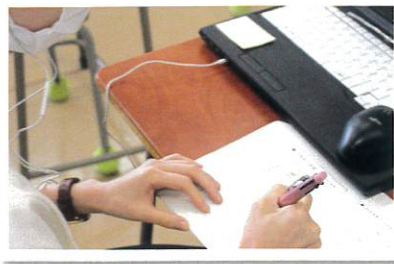


● 校内研修の充実 ●

- 指導主事を招聘しての研修会
- 示範授業 講師 白木 みどり氏 2学年「気持ちをこめて」



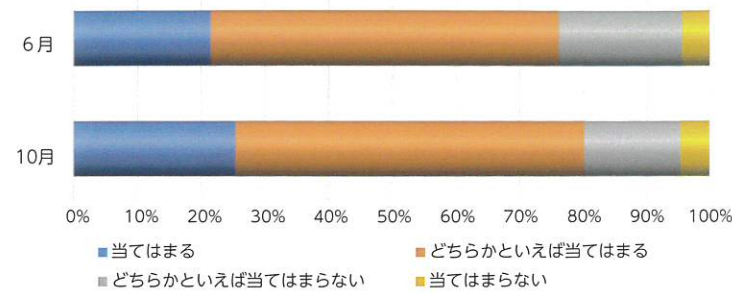
- 校内研修会（オンライン） 講師 山田 貞二氏
「うれしい、楽しい、道徳大好き！」
～対話的な道徳の授業づくりについて～



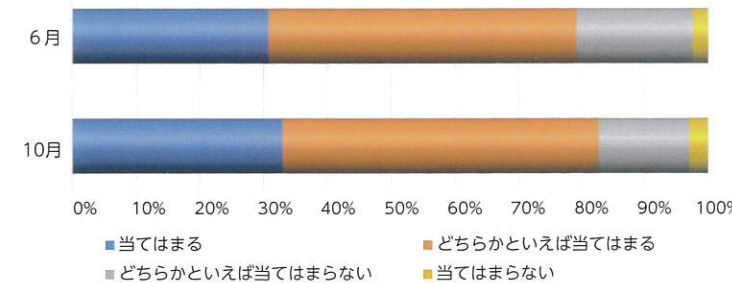
● 検証 ●

▶ 生徒アンケート

道徳の時間は好きだ。



自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。



▶ 生徒の声

道徳の時間について…

- ★自分の心や行動を見つめ直すことができるから好きだ。
- ★いろいろな人の意見を聞くことで、考えを深めることができる。
- ★社会に出た時に必要なことを学べる。

振り返りの視点を意識して授業に臨むことで…

- ★友達の意見の良さを探しながら聞くようになった。
- ★友達と自分の意見を比較して考えるようになった。
- ★視点を参考にして振り返りを書くことで、授業前と授業後の自分の考えの変化を実感できた。

▶ 成果と課題

- 2学期より、授業で振り返りをする際、振り返りの視点をういて行うようにした。自分の言葉で書いたり話したりすることが苦手な生徒も、考えを表出できるようになった。
- 教師が「授業振り返りシート」を作成することで、一つの授業に対して学年で検討する意識が以前より高まった。
- ▲ 話し合う活動の場面で、意義のある話し合いにするために、「なぜ話し合うか」「どのような視点で話し合うか」など、目的をはっきりさせる。
- ▲ 話し合いをした後に考えを発表する場合、クラスメートの考えと比較して述べさせることで、自己の変容を実感させる。

令和3年度 石川県教育委員会指定
いしかわ道徳教育推進事業 研究発表会

主体的・協働的に 課題解決に取り組む 生徒の育成

～考え、伝え合う授業づくりを通して～



白山市立光野中学校

● 考え、伝え合う授業づくり ●

▶ 発問の工夫

★生徒一人一人が自分の考えを持ち、対話し、多様な価値観に触れることで自身の学びを深めるためにも、発問の質を向上させる。

そのために…

●ねらいの明確化

生徒の実態・内容項目・教材の特徴を踏まえて、生徒に考えさせたいこと、気づかせたいことを明確化して授業づくりをする。

●生徒の着地点の具体化

授業終末において、生徒から引き出したい言葉を具体的に想定する。

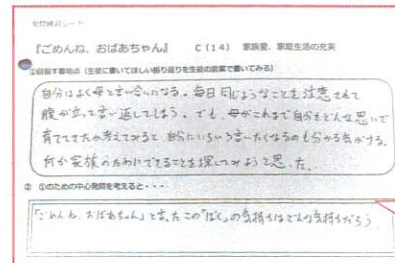
●中心発問の吟味

多面的な考えを引き出すことができる発問か吟味する。

「中心発問は議論の発火点！」

山田貞二先生『道德の授業がもっとうまくなる50の技』より

発問づくりシート



授業者は、学習指導要領解説の読み込み（価値の概要の正しい理解）をもとに、

①目指す着地点

②①のための中心発問

の順に中心発問を考える。参観者も事前にこのシートで中心発問について考えたうえで参観する。

授業振り返りシート

①他のクラスに先行して授業を行った担任が、授業後、シートに振り返りを記入する。

A 板書の写真

B 中心発問とそれに対する反応

C 授業の振り返り

②シートを学年で回覧し検討する。次の授業者は記載内容を参考にして、自身のクラスで授業をする。

③授業をしてどうだったか、シートに振り返りを記入する。

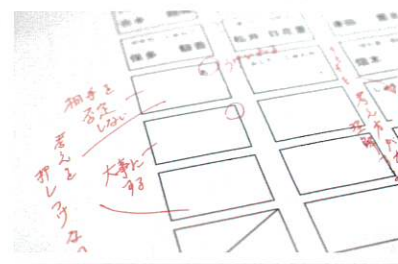
- ☆学年みんなで発問づくり・授業づくりをする意識が高まる。
- ☆回覧し検討することで、中心発問のブラッシュアップができる。
- ☆シートを保管することで、次年度以降の授業づくりに生かせる。

▶ 指導に生かす評価の工夫

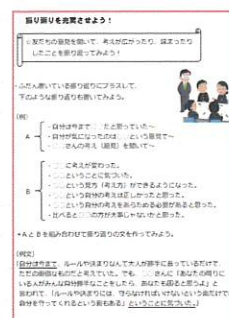
★生徒同士の議論を活性化させ、ねらいに迫るため、見取りの工夫をする。



座席表を活用して机間指導を行う。生徒の考えや反応をメモする。個々の考えを把握し意図的な指名につなげる。



★自分の考えを表現できるようになるために、授業を振り返る際、道德ノートに貼った振り返りの視点をもとに、友だちの考えと比較して書く・話す。



【生徒の振り返りより】

私は今まで、全員が幸せになるなんて難しくて無理だと思っていました。でも、〇〇さんの、「自分の幸せを増やせば、いろんな人の幸せに共感でき、相手を否定することがなくなり、みんなの幸せに近づく」という意見を聞いて、みんなの幸せには相手を否定しないことが大切で、そのためには自分の意識を変えることも必要だと考えられました。

▶ 掲示の充実・家庭や地域との連携

「授業のあしあと」の掲示

教室後方の掲示板に、「授業のあしあと」を掲示する。掲示物には、授業での学びを思い出せるよう、中心発問と生徒の振り返り、場面絵を載せる。



いじめから目をそむけない

「いじめをなくすためにできることは？」



・傍観者になったとき、絶対に加害者側へ向かない。勇気を出して被害者に声を掛けたり、話を聞いたりする。
・悩みを抱えた人が加害者になることがある。普段からいろんな人と会話をしながら、悩みを抱えた人が加害者になることを防げるかもしれない。

● 学校全体で取り組む道德教育 ●

【節度・節制】【礼儀】
あいさつ・募金運動(生徒会)



【自主自律】【克己と強い意志】
自問清掃、生徒も教師も一緒に！



【個性の伸長】【親切・思いやり】
見る観る「カード」で生徒のよさを発見し、伸ばす(生徒指導部)



【友情・信頼】
【集団生活の向上】
運動会 学年や団を超えて団結し、大成功！



授業を通しての生徒の学びや、校内掲示の様子などを保護者に紹介する。



道徳掲示板の活用

生徒参加型の掲示物。道徳的価値について考えるきっかけになる。掲示を見た生徒がシールを貼ることで考えを位置づけている。

道徳通信の発行